

### 主な記事

2～3面 令和3年12月定例会の概要

4面 議会活動の紹介

県議会からのお知らせ

# わかやま 県議会だより

WAKAYAMA PREFECTURAL ASSEMBLY

### クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で「図書カード」を  
10名様にプレゼント!!

和歌山県とすさみ町は、未来社会の先行  
実現を目指す「南紀熊野〇〇〇〇シティ構  
想」の実現に向け取り組んでいます。

Q:「〇〇〇〇」に入る文字は何でしょう。

ヒント:2～3面を読んでね。

応募方法:4面をご覧ください。



田村薬品工業(株)紀ノ光台工場

経済警察委員  
会では、本県の  
産業・雇用施策  
等のさらなる  
充実、県民の安  
全・安心を実現  
させるため取  
り組んでいき  
ます。

経済警察委員会は、令和3年10月26日・27日の2日間で調査を行いました。  
田村薬品工業株式会社紀ノ光台工場（橋本市）では、工場概要と企業誘致制度の活用について、白浜町のICTビジネスオフィスANCHOR（アンカー）では、コロナ禍で加速している新しい働き方を調査した後、入居企業の視察を行いました。そのほか、ヨシダエルシス株式会社（御坊市）、和歌山市で県警の警察犬についても調査を行いました。

## 経済警察委員会

# 常任委員会 活動レポート

6つの常任委員会の  
活動を紹介します。



林業施業地

農林水産委員  
会では、今後とも本  
県の基幹産業である  
農林水産業の一層  
の振興と発展のため  
取り組んでいき  
ます。

農林水産委員会は、令和3年10月27日・28日の2日間で調査を行いました。  
林業施業地（田辺市）では、最先端技術を駆使したスマート林業の取組について、近畿大学水産研究所浦神実験場（那智勝浦町）では、飼料開発等について調査を行いました。  
そのほか、県果樹試験場かき・もも研究所（紀の川市）、県農林大学校（かつらぎ町）、近畿大学水産研究所大島実験場、県水産試験場、公益財団法人和歌山県栽培漁業協会南部栽培漁業センター（以上串本町）、県畜産試験場（すさみ町）においても調査を行いました。

## 農林水産委員会

建設委員  
会では、今後とも県  
道建設現場では、ICT  
施工等について調  
査を行いました。



(仮称)鏡石トンネル建設現場

建設委員会は、令和3年11月10日から12日までの3日間、県内及び福井県で調査を行いました。  
和田川改修現場（和歌山市）及び県道海南金屋線（仮称）鏡石トンネル建設現場（海南市）では、工事の概要と進捗状況について調査を行いました。

## 建設委員会

文教委員  
会では、今後とも学  
校教育をはじめ、  
生涯学習の推進  
など、教育全般  
の充実に向け取  
り組んでいきま  
す。



紀の川市立竜門小学校

文教委員会は、令和3年11月10日から12日までの3日間、県内及び宮城県、福島県で調査を行いました。  
紀の川市立竜門小学校（紀の川市）では、ICTを活用した教育の取組について調査を行いました。  
その後、石巻市教育委員会、石巻市震災遺構大川小学校（以上宮城県）、東日本大震災原子力災害伝承館、福島県立ふたば未来学園（以上福島県）において調査を行いました。

## 文教委員会

総務委員  
会では、令和3年10  
月25日・26日の2  
日間で調査を行いま  
した。  
海南市の海南nobinos（ノビノス）では、市民交流施設及び図書館業務の指定管理等について、特攻艇「震洋」の基地跡（田辺市）では、戦争遺産の保存に係るNPO法人の取組について、串本町役場（串本町）では、庁舎の高台移転等について調査を行いました。

## 総務委員会



串本町役場

そのほか、丹鶴ホール、旧チャップマン邸、旧西村家住宅（以上新宮市）、道の駅すさみ、FRONT110（以上すさみ町）においても調査を行いました。  
総務委員会では、今後とも人口減少社会における地方創生や災害対策など住みよいまちづくりの推進に取り組んでいきます。

## 福祉環境委員会

福祉環境委員  
会では、令和3年10  
月6日・7日の2日間で  
調査を行いました。  
県立医科大学薬学部（和歌山市）では、県内薬剤師の現状と養成していく薬剤師について、県社会福祉協議会（和歌山市）では、新型コロナウイルスによる生活福祉資金の特例貸付の利用状況について調査を行いました。  
そのほか、県立南紀熊野ジオパークセンター（串本町）、県環境衛生研究センター（和歌山市）においても調査を行いました。  
福祉環境委員会では、今後とも県民が健康で活気のある暮らしができるような施策を検討し、各方面と協力しながら取り組んでいきます。



県立医科大学薬学部

# 12月定例会の概要

会期 11月29日～12月17日の19日間

質問議員 16人

12月8日(水)	
中本 浩精	拓哉
中 玄素	彰人
高田 由一	
12月9日(木)	
玉木 久登	規子
奥村 章浩	太史
片桐 濱口	
12月10日(金)	
長坂 隆司	慎一
北山 敏宏	徹
山家 中西	
12月13日(月)	
佐藤 武治	文郎
楠本 隆一	太郎
林 隆一	
尾崎 太郎	

## 議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	4件	令和3年度和歌山県一般会計補正予算 等	可決
条例案件( // )	11件	知事及び副知事の給与その他の給与条例の一部を改正する条例 等	可決
決算案件( // )	2件	令和2年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	認定
その他案件( // )	26件	令和3年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
意見書・決議	12件	介護職種における外国人技能実習制度の見直しを求める意見書 「こども家庭庁」の早期設置を求める意見書 ヤングケアラーへの支援強化を求める意見書 定期接種の機会を逸した女性に対するヒトパピローマウイルスワクチン接種機会の確保及びより効果の高いがん予防対策を求める意見書 地域公共交通への支援の強化を求める意見書 シルバー人材センターに対する支援を求める意見書 参議院議員選挙における合区の解消に関する意見書 衆議院議員選挙制度の抜本的な改革を求める意見書 北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組を推進する決議 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書 「土地利用規制法」に基づく注視区域の指定に当たり地元自治体の意見聴取を求める意見書 消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書	可決 否決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

### ライフラインの点検

**問** 和歌山市六十谷の水管橋の一部が崩落し、大規模な断水が発生したが、それを受けたライフラインの点検内容と今後の取組について伺う。

**答** 崩落事故を契機として、県、国機関、市町村、民間事業者が連携し、道路や水道など11項目のライフラインについて、地震や津波等に対する「強靱性」と、道路等が複線化されているかという「ネットワーク」を点検しています。それぞれが点検結果を受けて、緊急対策が必要なもの、中長期計画で取り組むものなど、予算措置も含めて必要な対策をとっていくものと考えます。

六十谷水管橋



給水の様子

### 南海本線 紀ノ川橋梁への対策

**問** 六十谷水管橋崩落事故を受けて、南海本線紀ノ川橋梁の定期点検や今後の対策をどう考えるか。

**答** 南海電鉄によると、定期的な全般検査等の結果、橋梁の健全性を確認しており、また、通常の検査に加えてドローンでの点検も試験的に実施し、その有用性を検討していくとのこと。

さらに、緊急性の高い橋梁の異常を検知すると、指令所や信号機を介して列車の乗務員へ直ちに異常を知らせるシステムの構築を進めており、令和4年3月の完了見込みと聞いています。

### スーパーシティ構想

**問** スーパーシティ構想のこれまでの経緯や県の取組姿勢について伺う。

**答** 県とすさみ町では、「南紀熊野スーパーシティ構想」をとりまとめ、令和3年4月、国に提案しました。しかし、大胆な規制改革の提案が乏しいとされ、本県を含む全ての団体に對し再提案が求められました。

これを受け、県とすさみ町では、住民による来訪者への食事提供を可能とする食品衛生法の施設基準の緩和などの規制改革をとりまとめ、10月に再提案を行ったところ。

今後、国から区域指定を受け、この構想を実現できるようすさみ町とともに全力を挙げて取り組んでいきます。

**スーパーシティ**：大胆な規制緩和と生活全般にわたる先端的サービスの社会実装により、住民が抱える社会的課題を解決し、未来社会の先行実現を目指す都市のこと。

### 住宅耐震化促進事業

**問** 住宅耐震化促進事業は現地建て替えも補助対象となっているが、当該事業における耐震改修と現地建て替えの割合と、今後の制度の進め方について伺う。

**答** 耐震性能が極めて低く、改修に多額の費用を要する住宅を対象に現地建て替えを支援しています。平成26年度の事業導入時は、建て替えを行った住宅は24件で全体の約2割でしたが、令和2年度には121件と約4割まで増加しています。

これからも、補助制度や融資制度、税制優遇措置などについて、戸別訪問による周知に加え、SNSなどを活用し、広く情報発信を行うことで、住宅の耐震化を促進していきます。

### 県営住宅の浸水対策

**問** 公営住宅の浸水対策は避難訓練等のソフト面での対策が目立つと聞かれますが、本県の県営住宅ではどう取り組んでいるか。

**答** ソフト対策としては、入居者への洪水・津波の浸水想定による水深の周知、早期避難の働きかけ、上層階に避難が可能な団地については、垂直避難の啓発などを行っています。

ハード対策としては、6団地で津波避難階段の設置を行い、設計中の申本団地は、津波の浸水想定深より上層階に住戸や避難場所を配置した津波避難ビル機能を有する構造にしています。

### 県営住宅の入居者資格

**問** 県営住宅の入居者資格について、一人暮らしの高齢者同士の入居を認めるなどさらに緩和する意向はあるか。

**答** 入居者の募集は、同居親族を前提としており、現状においても、2倍程度の競争倍率があることから、当面、その前提を変更することは難しい状況です。

しかしながら、例えば、認知症や障害のある方々の共同生活援助事業を行う社会福祉法人等が、県営住宅をグループホームとして利用することができるとして利用促進を図るなど、可能な限り、高齢者の生活の実態を踏まえた県営住宅行政を推進していきます。

### 地域おこし協力隊の受入拡大

**問** 地域おこし協力隊の積極的導入に向けた市町村への働きかけについてどう考えるか。

**答** 県内において活動している隊員数は令和2年度で52人と、全国的に見ると少ない状況です。この要因について、市町村に対するヒアリングや全国状況では応募者が集まりにくいことや、市町村の受入態勢が十分ではない等の課題が明らかとなりました。

このような状況を踏まえ、合同募集説明会を行い応募者の拡大につなげることを考えています。また、地域に定着した

先陣隊員による支援組織を構築して、現役隊員のサポート体制を充実させるように考えており、今後も、地域おこし協力隊の受入拡大に取り組んでいきます。

### ユニバーサルツーリズムの推進

**問** ユニバーサルツーリズム（バリアフリー観光）に係る県の取組について伺う。

**答** 事業者へのバリアフリー観光に対する意識の向上を図るとともに、公衆トイレの整備や宿泊施設のバリアフリー改修の補助、観光地のバリアフリー情報の発信などに取り組んでいます。

また、「特別支援学校や地元障害者施設などの遠足で地元体験してもらう」という御提案については、既に特別支援学校では県内で体験学習を含む修学旅行や遠足を行っていると考えています。引き続き、観光における和歌山ならではの地元体験プログラムについて、関係部局へも情報提供していきます。

### 矢羽根型路面表示

**問** 矢羽根型路面表示をよく見かけるが、設置の目的は何か。

**答** 道路交通法上、自転車は車道の左側を通行することが原則です。表示は、自転車利用者に対して走行する車道と向きを、自動車運転手に自転車が走行する空間であることを示す目的があります。

県では、歩行者と自転車の通行の多い市街地の歩道上において事故の危険性が高い区間を対象に、国や和歌山市と連携し、矢羽根型路面表示を整備しています。

### 産業部門の省エネ化

**問** 産業部門の省エネ化を進めるために支援策の充実が必要と考えるが、県の考えはどうか。

**答** 企業の省エネ推進の支援については、平成29年度から令和元年度まで省エネ設備の導入支援を県単独事業として実施するとともに、今年度から、ものづくり企業における生産性向上のための県単独補助制度を設けており、その中で、省エネ設備も補助の対象としています。引き続き脱炭素に向けた県内企業の積極的な取組を支援し、県内産業の成長につなげていきたいと考えています。

### 新型コロナウイルス感染症への今後の対応

**問** 新型コロナウイルス感染症に係る支援として、病床確保料について県独自で上乗せ補助を行っているが、今後も継続するのか。

**答** 入院医療機関における新型コロナウイルス感染症患者の受入病床の確保に係る財政支援については、次の感染拡大に備え、あらかじめ病床を確保しておく必要があることから、引き続き県独自の上乗せ補助を行い、患者の全員入院を堅持していきます。

### 県内の医師偏在

**問** 県内の医師偏在の解消と、緊急性の高い新宮市立医療センターの産婦人科医確保にどう取り組むか。

**答** 将来にわたり地域医療を担う医師を確保するため、県立医科大学地域医療枠等の医師の県内中山間地域等への適正な配置、特定診療科での勤務を条件とする返還免除つき資金貸与制度の積極的な運用、県立医科大学医学部の定員確保等に取組んでいます。

次に、新宮市立医療センターの産婦人科医については、県内での確保が困難であるため、現在は日本産科婦人科学会を通じて公募や県外の医科大学等への派遣要請を行っています。

### 医療的ケア児への支援

**問** 医療的ケア児支援センターの設置と対応できる人材の育成をどう考えるか。

**答** 医療的ケア児とその家族を支援できる各地域での体制整備を優先すべきと考え、そのためには、対応できる人材（医療的ケア児コーディネーター）の育成が重要と考えています。

そこで、各地域での支援体制の整備を進めた上で、医療的ケア児支援センターの設置に向けて、令和5年度を目標に、引き続き市町村等と連携して取り組んでいきます。

**医療的ケア児**：日常生活及び社会生活を営むために恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為を受けることが不可欠である児童のこと。

### 潜在看護師の活動状況

**問** 潜在看護師の状況と、新型コロナウイルス感染症対策にどのような役割を担っているのかについて伺う。

**答** 感染対策に従事する医療人材を確保するため、令和2年11月には全国に先駆けて、県看護協会と契約を締結し、潜在看護師を派遣する体制を整備しました。県ナースセンターを通じて、潜在看護師に協力の呼びかけを行ったところ、これまで延べ1139人の潜在看護師が県内各保健所で疫学調査と健康観察に従事しました。また、宿泊療養施設での健康管理業務に45人が、ワクチンの集団接種や職域接種の業務に41人が従事したところです。

### 紀州材の利用推進

**問** 公共土木工事における紀州材の利用状況、課題、今後の方向性について伺う。

**答** 主に木製ガードレールや道路法面の法裾を覆う丸太伏工などに利用しています。

課題は、木材を利用しない場合に比べ、価格や強度、耐久性の面から利用範囲が限られてしまっていること。今後の方向性については、課

題解決のため、県発注工事における優遇措置等を通じて、県内企業に技術開発を促すとともに、各種マニュアル等の早期整備や河川や砂防等の現場に利用範囲を拡大できるよう調査研究を進めていきます。



木製ガードレール(県道南紀白浜空港線)

### 脱炭素社会の実現に向けて

**問** エネルギー新分野の研究を行う企業等の誘致についてどう考えるか。

**答** エネルギーに関する新分野の企業誘致については、弊害がある場合を除き、あらゆる分野でチャンスがあれば取り組まなければならないと考えています。

カーボンニュートラルへの対応のように、変化していくのが経済というものであり、現状を維持するだけという考えでは、すぐに今の地位すら危なくなります。そのため、雇用につながるあらゆる産業の育成、企業の誘致に取り組んでいきます。

# Information

## 県議会からのお知らせ

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

### テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

#### テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより(予定)

開会日、質問日、閉会日の22時から25分間放送  
(2月定例会の放送 2/22、3/4、7~11、14、18)

県議会手話だより(予定)

閉会日の約1週間後に、22時から30分間放送  
(2月定例会の放送 3/29)

#### ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト(予定)

開会日、質問日、閉会日の21時30分から15~30分間放送  
(2月定例会の放送 2/22、3/4、7~11、14、18)

### 県議会ホームページ

- 県議会の仕組みや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。



<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/cms/www/index.html>

和歌山県議会

### 傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

令和4年2月定例会 会期日程(予定)	
本会議	2月22日(火)
本会議・常任委員会	2月25日(金)
本会議(質問)	3月4日(金)・7日(月)~10日(木)
予算特別委員会	3月11日(金)・14日(月)
常任委員会	3月15日(火)・16日(水)
本会議	3月17日(木)・18日(金)

※この日程は予定ですので変更されることがあります。  
※要約筆記をご希望の方は、事前に県議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 「点字版、CD版」の案内

本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

## クイズ&プレゼント

#### 応募方法

ハガキへ、(1)クイズの答え「〇〇〇〇」、(2)〒住所、(3)氏名、(4)年齢、(5)電話番号、(6)「わかやま県議会だより」のご感想を記入の上、**2月25日(金)** <消印有効>までにご応募ください。

#### 応募先

〒640-8585(住所不要)  
県議会事務局「クイズ&プレゼント係」

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。  
※皆様の個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

## 議会活動の紹介

### 令和2年度決算議案を認定

決算特別委員会では、令和2年度一般会計決算(歳入額6616億余円、歳出額6434億余円)のほか12特別会計の決算及び公営企業決算(県立こころの医療センター事業会計など4事業会計)について、令和3年10月11日から13日まで審査を行い、決算議案を認定すべきものと決しました。令和3年12月16日の本会議において、岸本健委員長が、決算特別委員会における審査の経過・結果について報告を行い、採決の結果、決算議案が認定されました。



### IR対策特別委員会を開催

令和3年11月19日、IR対策特別委員会を開催し、県当局及び参考人(事業者)に対し「区域整備計画(原案)」について説明を求めました。その後の質疑において、事業主体等の運営体制や資金計画について、不透明な部分があり、これらの内容が明らかにされるまでは、実施予定の公聴会やパブリックコメントは延期すべきではないかとの意見が出ました。その結果、「IRに関する公聴会(説明会)及びパブリックコメントは、事業主体等の運営体制と資金計画を本特別委員会においてつまびらかにした上で実施すること」との決議を委員全員の賛成で決定しました。



### 関西広域連合議会11月臨時会

令和3年11月18日、関西広域連合議会11月定例会がNCB会館(大阪市)で開催され、一般質問に中西徹議員が発壇し、防災・減災対策としての水道インフラ整備の必要性などについて質問しました。質問では、令和3年10月に和歌山市の紀の川に架かる水管橋が崩落したことを例に、水道インフラの老朽化は全国的に共通する課題であると説明するとともに、国では水道事業の耐震化などを促進するための補助制度「生活基盤施設耐震化等交付金事業」を行っているが、交付要件が厳しく採択されない事業体があり、関西広域連合としても国に対して財源の確保及び交付要件の撤廃・緩和などを要望していくことが必要ではないかとたどりました。

質問に対し、仁坂吉伸関西広域連合長(和歌山県知事)は、施設設備の更新や耐震化が非常に重要な課題であるとの認識と、関西広域連合としても国に対し、水道施設の耐震化等への支援の充実・強化を強く求めているところであり、今後も補助制度の採択要件の撤廃・緩和なども併せて要望していきたいとの答弁がありました。このほか、中西議員は、関西広域連合の各府県における給水システムの共同利用や、ワクチン接種証明(ワクチンパスポート)の活用、農産物の地産地消運動の推進による域内消費拡大などについて質問しました。



中西 徹 議員

議員の動向 岸本健議員(紀の川市選挙区選出・自由民主党県議団)が、令和4年1月24日、辞職しました。